

質問	回答
<p>データマネジメントの実行単位として会社全体を想定したほうが良いという理解をしましたが、建設プロジェクトを想定すると複数のエンジニアリングや工種が含まれて、プロジェクト自体が独立した企業のようにふるまうようにも思えます。プロジェクト単位でのBI活用というのは考えにくいのでしょうか？</p>	<p>もちろん、プロジェクト単体でBIを整備することは可能だと思います。 一方で、プラットフォームやDXという思考自体が「会社の利益の最大化」をテーマに掲げていますので、そこの距離感は常に測っておかないといけないとも思います。 「プロジェクト単位でBIを活用したけど赤字だった」とならないような視座も合わせていく必要があるかと。</p>
<p>データベースの構築を会社主導で行っていくというご説明がございましたが、既に実施している企業は多いのでしょうか。</p>	<p>回答で取り組んでいる具体的な企業名を出すのは避けませんが、AWSやAzureといったクラウドサーバの仕組みが充実してきましたので、その辺りの事例をご覧頂くと建設業の企業様も出てきます。 また、セールスフォースのようなクラウドサービスを使うことでデータベースの構築に取り組んでいる企業様もありますので、そういったソリューションの事例を見ていただくと、競合企業の取組状況も分かるかもしれません。</p>
<p>私だけなのかもしれませんが、BIの利用価値が不透明です。国内での具体例、成功例が知りたいです。</p>	<p>BIの利用価値については、Tableau社やSalesforce社といったクラウドサービス企業さまのユーザー事例などで紹介されていますので、ご覧頂ければ幸いです。 建設業でもいくつかBIによる工数削減の事例が出ていますので、お手数ですがお探し頂ければと思います。</p>
<p>皆さん今どのようにBIMモデルを使用しているのか具体的に知りたい。</p>	<p>オートデスクからユーザー事例が出ていますので、そういった情報をご覧いただければと思います。 ただ各企業さまごとに事例として出せる情報は限られているかと思しますので、実際のところは直接伺いするしかないかと思します。</p>
<p>建築分野のRevitによるデータ連携について紹介頂きましたが、土木分野のCivil3Dによるデータ連携は難しいのでしょうか？</p>	<p>Civil3DにはAutoCADとは異なる専用のオブジェクトがあります(corridorなど)。そういったオブジェクトは数量や長さなどをACC経由で取得できます。 また、オブジェクトにセットした属性情報もACC経由で取得できますので、Civil3Dでもデータ連携はできる範囲があると思われます。</p>